



どう使われるの？
私たちの大切なお金
～平成18年度町の予算～

和水町では「希望あふれ、人と地域が輝くまち」を
将来像としたまちづくりを進めています。
6つの基本目標で施策の方向を定め、その財源となる
平成18年度の予算が決まりました。
依然として厳しい財政状況が続いており、
町では、行財政の見直しを行いながら
計画的に予算を編成し、充実した生活が送れる
まちづくりを進めていきます。

こうした状況の中、財源となる
歳入の構成はどうなっている
のでしょうか。町民税や固定
資産税、軽自動車税など、みな
さんから納められ、歳入全体の
15・3％を占める「町税」は、8
億2,240万4,000円と
前年度から4・6％（3,585
万5,000円）増となります。
また、所得税など国が徴収し
た税金の中から市町村の財政

大切なお金
その出どころは？



ポケットの中には
大切な118億円



町の予算には、私たちの生活
と密接な関係がある福祉や医
療、教育、道路整備などを行う
一般会計と、上下水道事業や
国民健康保険事業など、水道使
用料や保険税などの収入を支
出に充てていく特別会計があ
ります。それを合わせた予算総
額は、118億1,271万
1,000円です。このうち、一
般会計予算は、53億8,893
万1,000円で、前年度より
18・7％（12億3,900万
6,000円）の減と、引き続き
厳しい財政運営が求められて
います。

状況に応じて交付される地方
交付税についても、26億円で、
前年度から2・0％（5,000
万円）増となります。

その一方で、町債は5億
7,930万円と、前年度から
23・8％（1億8,070万円）
の減です。これは、農業農村整
備事業債や義務教育事業債、観
光施行債などの減額によるも
のです。

少ない予算で
効率的な取り組み



町では、限られた財源の有効
活用が求められる中で、計画的
な財政運営を進めていくため、
歳出では、現在継続している事
業を含め、事務・事業全般のコ
ストの見直しや合理化を進め
ています。また、合併に伴い町
全体の速やかな一体性の確保
や、少子化対策に配慮した予算
配分を行いました。

なお、今年度の主要な施策に
かかる予算は、32億6,912
万4,000円となり、道路新
設改良費や社会福祉総務費、児
童福祉総務費などに重点が置
かれています。

では、次のページからは、主
な事業内容を分野ごとに見て
いきましょう。

特別会計
予算額 64億2,378万円

項 目	金 額
国民健康保険事業会計	15億1,661万円
老人保健事業会計	18億4,768万円
奨学金貸与事業会計	618万円
工業団地造成事業会計	143万円
特別養護老人ホーム事業会計	4億8,901万円
病院事業会計	9億1,503万円

項 目	金 額
住宅用地造成事業会計	649万円
介護保険事業会計	13億9,583万円
簡易水道事業会計	3,904万円
下水道事業会計	1億2,208万円
特定地域生活排水処理事業会計	8,404万円
春富財産区会計	36万円

一般会計
予算額 53億8,893万1,000円

